

月日会々報

発行所
都立田園調布高等学校
同窓会 月日会
東京都大田区田園調布南27-1
発行人 鍵和田幹夫
編集責任者 小西正晃

おもな内容

- 月日会 60周年記念事業、盛大に
- 一般財団法人田園調布教育財団発足
- 桐の木 14本に

月日会60周年へのご協力 ありがとうございました

年会費ご納入ありがとうございます。今年度もよろしくお願ひします。

会員の皆様には、月日会活動にご理解をいただき感謝しております。この会報を皆様にお届けできるのも皆様からの年会費・ご寄付のおかげです。ご協力を本当にありがとうございます。



月日会 会長 (19期)
鍵和田 幹夫

会員の皆様は如何お過ごしでしょうか？昨年は、60周年記念事業へのご協力ありがとうございました。お陰様で成功裏に終了することができました。

さて、今年は改めて月日会の原点に立ち返り、「田高」を仲立ちに人と人との絆、人と地域との絆を確かめながら強くしていく活動を、地道に進めていこうと考えています。

その絆には、「月日会」という世代を超えた縦軸、同期の仲間、縦・横・斜めに結ぶクラブ・委員会活動という絆があるのではないのでしょうか？これらの絆が相互に絡み合うための触媒に、月日会がなれば良いと思っています。

その一つとして、今年度も同期会やクラブOB会へ参加し、月日会や母校の近況などについて直接お話をさせていただこうと考えています。これから計画さ

れている幹事さんは是非ご連絡ください。

最後に、これらの月日会活動を支えるためにも会費の納入をお願いいたします。今年も幹事一同、精一杯がんばりますので重ねてよろしくお願ひいたします。

月日会の皆様へ

都立田園調布高等学校校長
第18代

吉田 巨



ご退職した桑原洋先生を引き継ぎ、四月一日付けで第十八代校長として、伝統ある田園調布高校に就任しました。私と副校長を含めて十四名の教員と一名の経営企画室職員が入れ替わり、さらに、新入生二百三十八名を迎えて、教職員四十五名と生徒在籍七百一名で平成二十五年度がスタートいたしました。日頃より、月日会の皆様には、本校の教育活動にご理解とご支援を

田高に行ってみませんか

月日会 名誉会長 (6期)

一般財団法人田園調布教育財団理事長
学校運営連絡協議会協議委員

田中 博隆



昨年は、月日会60周年総会と平成24年版の月日会名簿の発行が出来感慨深い年でした。

今春、61期生を迎え同窓生は一万六千四百十二名になりました。同窓会活動を続けている喜びをいっばい感じています。

3月に桑原洋校長先生(17代)、浅見弘副校長先生(ご退職)が、月日会活動に大変ご理解をいただきまして心より感謝申し上げます。

賜りまして感謝申し上げます。

東京都教育委員会では、昨年二月に都立高校改革推進計画(第一次)を、今年四月に東京都教育ビジョン(第三次)を発表し、都立高校のあるべき姿を提示しています。その中では、学力向上、体力向上、健康維持、キャリア教育推進、規範意識の醸成、リーダー育成、グローバル化への対応、など多くの提言が行われています。また、家庭や地域との役割分担や連携を深めることの必要性が示されています。

今春六十四期生
一三八名入学

平成25年4月9日に執り行われた第64回入学式に、新幹事として出席をさせていただきました。31年前に経験したはずの入学式は記憶にほとんどなく、自分の娘の入学式にも出たことがない私は、新入生以上に緊張していた気がします。一人ひとりの名前が読み上げられる中、期待と不安が入り混じりながら立ち上がる新入生たちの初々しさは、未来への第一歩だと感じました。希望を大きく持つ田園調布高等学校での3年間を満喫して欲しいと願っています。

33期 波田野 宏

第61期生のご卒業を祝って

平成25年3月12日、田高から、个性的でとても素敵な表情をした若者たちが巣立っていきました。皆さんの田高立って3年間がどれだけ充実したものであったかは、皆さんの名前を読み上げる先生の声が思わず詰まりそうになったり、感謝の言葉で綴られた送辞や、温かく自然で優しい思いに満ちた答辞を聞いているだけでよく伝わってきました。皆さんならきっと自分の進むべき道を見つけ、まっすぐに歩いていけると信じています。ご卒業おめでとう！

20期 源田 真由美



61期生卒業式

多摩



「よろしくお願ひ致します。」
「ありがとうございます。」
和室に響く明るい声。正座。指を揃えての挨拶。生徒達は難なくこなしています。今私は母校で、伝統文化の箏曲の授業、そして箏曲部の指導をしています。箏曲と茶道を半年ずつ学ぶの授業の中で演奏はもちろん、礼儀作法、歴史などを伝えていきます。練習した成果は、入学式で「さくらさくら」を演奏したり、ほろにあ祭で発表したりと、大勢の人に披露もします。

私と箏曲の出会いは、田高のクラブでした。まだ初期の木造二階建ての校舎が残っていた時代です。恐る恐るクラブの門を叩いた頃が懐かしく思い出されます。

クラブで大会に出ると、必ず「箏曲は、弾き唄いが持ち味です。ぜひ、曲の演奏だけではなく唄も取り入れましょう。」と審査員の方から総評をもらいました。今まではとても無理と思っていました。これからは唄にも挑戦しようかなと考えています。可能性を信じて！

16期 加持 和子

新卒塾生

六十一期生

二百三十四名
田高卒業生は延一万六千四百十二名となりました。連絡可能月日会会員は、約一万二千名です。

月日会60周年記念事業、盛大に

東京都立田園調布高等学校同窓会 月日会60周年記念総会



月日会60周年記念事業
実行委員会委員長

鍵和田 幹夫

月日会60周年記念事業として昨年行った「会員名簿」の発行及び「記念総会」の開催についてご報告いたします。本事業は、1期から60期にわたる実行委員の皆様を中心に約2年間の準備のうえ、進められました。やむを得ない事情で実行委員を辞退された皆様からも様々なご支援をいただき、いずれの事業も成功させることができました。ご協力いただいた会員の皆様には心より感謝申し上げます。報告は本号と併せ、9月15日(日)のぼろにあ祭会場にでも展示させていただきます。ご来場お待ちしております。

月日会60周年 記念総会・懇親会

平成24年11月18日(日)午後1時から午後3時45分、品川プリンスホテル新館宴会場にて、恩師・清流会・PTAの来賓を含め百五十名余りの参加により開催されました。まず、小西副会長を議長として開催された「月日会総会」ではすべての議案が承認されました。その後、黒田俊介さん(30期)・小安悠衣香さん(59期)の司会により、和やかに懇親会はスタートしました。

会場では、久しぶりに顔を合わせる同期や恩師との会話が時間を経過するともに大きくなり、様々な場所や輪ができて、お互いの近況や家族・健康・趣味など様々な話題が飛び交っていました。

途中、アトラクションとして加持和子さん(16期)が中心となって活動する「祭ぶみ」による、箏・尺八の演奏が披露されました。加持さんは、箏曲部の指導や講師として現在も田高を支援されています。そして、実行委員長から桑原校長に、記念品として贈呈される「テント・桐の木2本」の目録贈呈が行われました。

最後に、全員により校歌斉唱そして記念撮影を行い、楽しい懇親会は終了いたしました。



祭ぶみ



司会の黒田さん(左)と小安さん



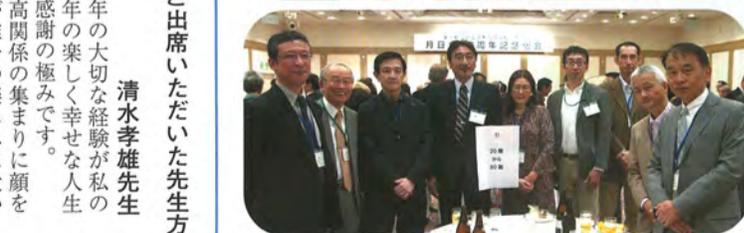
前田元校長先生 桑原校長先生 新井副実行委員長 田中名誉会長



鍵和田実行委員長 小西副会長 熊谷幹事長 清流会糸瀬会長



記念品贈呈



60周年実行委員会

総会にご出席いただいた先生方からお便りをいただきました。

清水孝雄先生
田高16年の大切な経験が私の大卒後50年の楽しく幸せな人生の原点で感謝の極みです。今は田高関係の集まりに顔を出すことが唯一の楽しみに近いです。昨年、月日会総会を含めて7回もあって楽しい思い出に浸りました。

新垣進一先生
輝かしい田園調布同窓会を予見させるような会長のご挨拶を頼もしく拝聴いたしました。前会長の卓抜した識見と実行力を讃え、これを力強く継承し更に飛躍発展なさろうと宣言された会長さんに心からの拍手をお贈りしたいと思います。長い間ご苦労を祈つてやみません。校章入り、和菓子、家中皆で戴いております。ご配慮に深謝。

月日会名簿(60周年記念号)発行を終えて

昨年11月に月日会新名簿を発行し、記念総会会場でご紹介することができ、一年半に及ぶ調査の完了と、なんとか発行にたどり付けたことにホッとしております。卒業生の皆様には調査はがき返信にご協力頂きましてありがとうございました。協賛金・広告にご協力いただいた皆様にも厚く御礼申し上げます。まだ事務局に在庫がありますので、名簿購入ご希望の方は、月日会事務局へご連絡ください。一冊五千円(送料込み)でご購入いただけます。よろしくお願ひ申し上げます。



名簿委員長
24期 山本 順子

月日会事務局
FAX: 03-3748-6780
メール: tsukihik409@tsukihikai.gr.jp

幹事会便り

平成24年度活動は以下の通りです。

幹事会活動

- 入学式出席(4月9日)
- 校章パッチ贈呈
- 幹事会(6回)
- 会計委員会(随時)
- 会報委員会(随時)
- 会報33号発行(6月)
- ぼろにあ祭参加(9月16日)
- 卒業式予行(3月11日)
- 卒業式出席(3月12日)

月日会60周年記念事業実行委員会

- 第3回(4月14日)
- 第4回(6月9日)
- 第5回(8月4日)
- 第6回(10月6日)
- 第7回(11月10日)
- 月日会60周年記念総会及び会員名簿発行(11月18日)
- 第8回(12月8日)

母校協力活動

- 体育祭(6月2日)
- 学校授業公開(11月6日から9日)

P.T.A協力活動

- ぼろにあ祭パザー実行委員会参加(7月7日)
- P.T.A手作り講習会参加(9月1日)
- ぼろにあ祭パザー協力(9月16日)売り子役で手伝い
- ぼろにあ祭パザー反省会参加(10月13日)

財団法人田園調布評議員会協力活動

財団法人田園調布評議員会

教職員異動

- 【転出】**
- 桑原 洋(校長) 退職 両国(全)
 - 浅見 弘(副校長) 退職 芦花(全)
 - 高野 忍(国語) 退職
 - 菅野 明彦(国語) 大崎(全)
 - 松崎 朗(地歴) 世田谷総合(全)
 - 岡田 恭子(公民) 退職 世田谷総合(全)
 - 櫻井 一雄(物理) 杉並総合(全)
 - 小林 智子(生物) 浦田(全)
 - 磯辺 隆之(保体) 日本橋(全)
 - 新田 靖(保体) 千歳丘(全)
 - 森島 啓(保体) 桜修館(全)
 - 亀井 貴子(保体) 富士森(全)
 - 船木克多郎(情報) 武蔵野北(全)
 - 堀野 孝雄(美術) 退職
 - 伊藤 弘子(司書) 退職
- 【転入】**
- 櫻井 豊(経営企画室) 大崎
 - 里見亜矢子(経営企画室) 新宿
 - 吉田 亘(校長) 葛西南(全)
 - 野村 悟(副校長) 府中東(全)
 - 谷岡 信幸(国語) 新規採用
 - 山代 水緒(国語) 雪谷(全)
 - 進藤 正勝(地歴) 羽村(全)
 - 手塚 登(公民) 六郷工科(全)
 - 内田晴之介(物理) 新規採用
 - 篠原 俊彦(生物) つばさ総合(全)
 - 坂口 裕幸(保体) 美原(全)
 - 玉田 将太(保体) 新規採用
 - 佐々木 務(保体) 中野特別支援
 - 山口 洋子(保体) 飛鳥(定)
 - 安達 里香(情報) 第一商(全)
 - 望月 典子(数学) 美原(全)
 - 渡邊 吉幸(経営企画室) 田園調布特別支援

- (6月23日、11月24日、3月23日)
- 多摩川清掃活動参加(6月17日)
- 手話講習会協力(11月17日)
- 小学生野球大会協力(12月16日)
- パソコン講習会協力(1月19日、2月2日、2月9日)
- グラウンド抽選立会い(毎月第一水曜日)

清流会協力活動

- 清流会総会参加(6月2日)
- 清流会研修旅行参加(12月2日)
- 清流会20周年記念祝賀会参加(2月16日)

平成24年度も母校及び田園調布の各団体と協力して、幅広く活動することができました。また、60周年記念事業も実行委員の皆様を始め関連諸団体の協力により終了いたしました。ありがとうございました。本年も会員の皆様の多大なご支援を宜しくお願いいたします。

平成25年度月日会役員

- 役職 氏名 任期**
- 名誉会長 田中 博隆(6期)
 - 会長 鍵和田幹夫(19期)
 - (兼)幹事長
 - 副会長 源田真由美(20期)
 - (兼)会計委員長
 - 副会長 山本 順子(24期)
 - (兼)簿記委員長
 - 副会長 小西 正晃(37期)
 - (兼)会報委員長
 - 会計監査 簡 敏(9期)
 - 会計監査 鈴木 洋子(11期)
 - 常任幹事 金子喜一郎(7期)
 - 常任幹事 千本 俊江(15期)
 - 常任幹事 新井 國貴(15期)

- 一般財団法人田園調布教育財団 月日会関係役員**
- 評議員 寺久保 勲(4期)
 - 理事 田中 博隆(6期)
 - 理事 鍵和田幹夫(19期)
 - 理事 源田真由美(20期)
 - 監事 簡 敏(9期)
 - 監事 金子喜一郎(7期)
 - 運営委員 千本 俊江(15期)
 - 運営委員 新井 國貴(15期)
 - 運営委員 加持 和子(16期)
 - 運営委員 山本 順子(24期)
 - 運営委員 波田野 宏(33期)
 - 運営委員 小西 正晃(37期)
 - 運営委員 重谷麻奈美(52期)
 - 運営委員 山梨 裕加(56期)



平成25年度 第一回幹事会にて

進路状況

61期生の進路

合格者の多い四年制大学(浪人生含む)			
四年制大学	140	神奈川大	24
短期大学	13	東海大	16
専門学校	39	立正大	13
就職	3	専修大	11
浪人他	39	東京都市大	10
合計	234	日本大	24
		東洋大	15
		駒澤大	12
		帝京大	10
		明治学院大	10

一般財団法人 田園調布教育財団 発足

平成25年3月31日、「財団法人田園調布」は解散し、新たに「一般財団法人田園調布教育財団」としてスタートいたしました。平成22年10月の財団理事会において移行作業が開始されてから約2年半の移行準備を経て、東京都知事から移行認可を3月25日受領することができました。財団運営に関するガバナンスは厳格に求められることとなりますが、財団活動の目的・内容はこれまでと大きく異なることはありません。田高・地域を支援する様々な財団活動に対して、月日会会員の皆様のご理解とご協力をこれまで以上にお願いいたします。

一般財団法人田園調布教育財団 理事 鍵和田幹夫

財団事業報告

(手話講習会、パソコン講習会、野球大会、多摩川河川敷清掃)

昨年度も様々な財団事業が盛大に行われ、参加した地域の皆様に喜ばれました。その概要を報告いたします。

平成24年11月17日(土)「手話講習会」が田高で開催されました。今年も、テキストを新たに制作しました。現役生を含む幅広い参加者はテキストに示された手話による歌詞を大きな身振りや体一杯表現し、手話コーラスを楽しみました。

同年12月16日(日)「第6回小学生野球大会」が、多摩川グラウンドで開催されました。今回はこれまでと違い、小学4年生・5年生を中心とする戦いで、例年以上にレベルの高い大会となり最後まで手に汗握る試合が続きました。今回も運営にあたっては、現役野球部の生徒が施設設置、グラウンド整備、優秀選手賞選出などの応援を行いました。

平成25年1月19日(土)2月2日(土)2月9日(土)の3回に亘り「初級パソコン講習会」が開催されました。今回はパソコンに興味があってもなかなか触ることができない方が多くなりました。

平成25年1月19日(土)2月2日(土)2月9日(土)の3回に亘り「初級パソコン講習会」が開催されました。今回はパソコンに興味があってもなかなか触ることができない方が多くなりました。

お知らせください!

会報を読んでのご意見、ご感想がありましたらご連絡ください。また、同期会開催案内、寄稿、住所変更等についてのお問い合わせも下記にお願いいたします。尚、お寄せ頂いた情報は掲載できないこともございますのでご了承下さい。

住所: 〒145-0062 大田区北千束3-24-1-118
月日会事務局 宛 Fax: 03-3748-6780
HP: <http://www.tsukihikai.gr.jp/>

制作しました。現役生を含む幅広い参加者はテキストに示された手話による歌詞を大きな身振りや体一杯表現し、手話コーラスを楽しみました。

同年12月16日(日)「第6回小学生野球大会」が、多摩川グラウンドで開催されました。今回はこれまでと違い、小学4年生・5年生を中心とする戦いで、例年以上にレベルの高い大会となり最後まで手に汗握る試合が続きました。今回も運営にあたっては、現役野球部の生徒が施設設置、グラウンド整備、優秀選手賞選出などの応援を行いました。



第6回小学生野球大会にて「月日会60周年記念品として贈呈したテント」

く参加され、初めてのパソコンにチャレンジしていただきました。

平成24年6月17日(日)大田区主催の「多摩川河川敷清掃活動」が開催され、約280名が参加しました。

平成25年6月16日(日)に予定されていた本年度の活動は雨天中止となりましたが、会場に集合した田高生は「ゴミを拾いながら帰宅しよう」と全員で確認し、解散しました。

なお、平成24年11月23日に予定されていた「第9回中学生サッカー大会」は、雨天中止となりました。



手話講習会

お知らせください!

平成24年9月16日(日)例年通り、ぼろにあ祭が開催されました。月日会では恒例の昔遊びやブリクラに加え、60周年記念事業の紹介コーナーを設けました。今年も老若男女多くの方が立ち寄り、ベゴマやお手玉・けん玉に挑戦したり、ブリクラを楽しんだり、癒しの時間を過ごす様子が見られました。

また、会員も多くおいでになりました。今年も9月15日(日)に予定されています。是非、ご来場ください。お待ちしております。

今年「ぼろにあ祭」第26回「ふれあいパザー」

9月15日(日)10時~12時(予定) 品物なくなり次第終了)

献品をお願いいたします。8月末日までに、月日会事務局宛 売上金は、一般財団法人田園調布教育財団に寄付され、学校支援・地域支援の活動に使わせていただきます。

今年「ぼろにあ祭」は9月15日(日)に開催されます。



17代 桑原校長先生

桐の木

月日会50周年の記念に植樹して以来、55周年、母校60周年と植樹してきました。このたび月日会60周年の記念に桐の木2本を贈呈し、平成25年2月12日に植樹いたしました。これらから増えた木も含めて14本となりました。

37期 小西正晃

編集後記

昨年は月日会60周年にご協力いただき、ありがとうございました。60周年を機に長年月日会活動を支えてきてくれた熊谷さんが幹事長を退任することになりました。他にも例年にならぬ規模で幹事の入れ替えがあり、月日会も新たな体制で活動をしていくことになりました。財団の新法人化もあり、田高の執行部も替わり、また、事務局として使われていた旧校舎の引越も完了しました。月日会を取り巻く環境の変化に伴い、幹事会の活動にも変化が求められています。開かれた幹事会を目指してまいりますので、少しでも興味のある方は是非一緒に活動していただければと思います。